

SCHOEPS からマイクのクリーニングに関する情報です

Covid-19 のパンデミック中でも、多くのお客様がマイクを使用する必要があることはわかっています。但し、マイク(特に近距離のスピーチやボーカルの録音に使用されるマイク)は、あるユーザーから次のユーザーにウイルスが伝わらないように特別な注意が必要です。2020 年 3 月現在の知識に基づいて、このリスクを最小限に抑える方法に関するヒントをいくつか紹介します。また、お住まいの地域の保健当局の現在の推奨事項に従ってください。

・マイクの掃除

マイクハウジングは、適切な洗浄剤で湿らせた布で洗浄できます。ただし、布を洗剤や消毒剤に浸さないでください。損傷を防ぐために、液体がマイクの内部に入らないように、または特にマイクカプセル内部のダイヤフラムに液体が到達しないように、細心の注意を払ってください。マイクがウイルスに感染していないことを確認する最も信頼性の高い方法は、マイクを十分な時間、つまり使用後数日間保管することです。ウイルスは高温になると、はるかに速く死滅します。当社のマイクは必要な製造中に 60° C に加熱されるため、50° ~60° C の温度がマイクの機能に悪影響を与えないことがわかっています。

・ビニール袋の使用

これはデリケートな時間ではありません。主なリスクは、誰もが程度呼吸している唾液に起因します。唾の小滴はほとんど見えないほど小さい場合がありますが、とりわけウイルスを運びます。従って、健康目的の当面の目標は、それらの液滴がマイクロフォンの表面に到達するのを防ぐことであり、その液滴は、そのマイクロフォンの次のユーザーまたはそれを扱うエンジニアに渡される可能性があります。マイクを覆っている薄いビニール袋は、締めすぎたり緩すぎたりしないで、マイクを効果的に保護します。ドイツ語のテキストが理解できない場合でも、写真については

[www.bonedo.de/artikel/einzelsicht/lassen-sich-mikros-mit-plastiktueten-vor-viren-](http://www.bonedo.de/artikel/einzelsicht/lassen-sich-mikros-mit-plastiktueten-vor-viren-schuetzen.html)

[schuetzen.html](http://www.bonedo.de/artikel/einzelsicht/lassen-sich-mikros-mit-plastiktueten-vor-viren-schuetzen.html) を参照してください。ビニール袋は、音質への影響を最小限に抑えるためにできるだけ薄くする必要がありますが、穴があってはなりません。ビニール袋は各人がマイクを使用した後に必ず変更する必要があります。そうしないと、ビニール袋自体が感染の手段となります。)

・ウインド&ポップスクリーンの使用

ウインドスクリーンがマイク全体を覆っていない場合、ウイルスの付着からマイクを十分に保護できません。従って、ビニール袋の代わりにはなりません。人が近くの模擬距離でポップ/ウインドスクリーンに向かって歌ったり話したりする場合は、使用後にスクリーンを十分に掃除する必要があります。下記参照。あるいは、ウインドスクリーンを保管しておけば、ウイルスは数日で死ぬでしょう。最も簡単な方法は、1 人につきウインドスクリーンを 1 つだけ使用することです。ほとんどのフォームウインドスクリーンは高価ではなく、迅速に配送できます。

・ウインドスクリーンの掃除 ウインドスクリーンやその他の固形物で作られたウインドスクリーンは、洗浄剤や消毒剤で問題なく洗浄できます。ただし、泡や毛皮のようなウインドスクリーンに液体クリーナーや化学薬品を使用しないでください。ウインドスクリーンに永久的な損傷を与える可能性があります。以上。